

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

水痘の報告が全国的にかなり多くなっている



注目すべき感染症  
P.4

2000年第1週(1月3日～1月9日)現在、インフルエンザの報告患者数は1999年第51週、第52週と比べると約2倍に増加しており、今後も増加が予想される



病原体情報  
P.5

インフルエンザ - A/ソ連型とA/香港型の分離 / 感染性胃腸炎 - 一部地域でSRSVとロタウイルス両方の分離



IASRからの速報  
P.6-7

千葉県における無症状病原体保有者を主とした腸管出血性大腸菌O26による集団発生事例 / フィリピンから帰国後に4類感染症である Dengue 熱・ジアルジア症を同時発症した14歳男児の一例



海外感染症情報  
P.8

ドイツで西アフリカからのラッサ熱輸入例死亡 / ハンガリーで髄膜炎菌性髄膜炎の警告 / ブラジルの国立公園で黄熱患者の報告



感染症の話  
P.9-11

コレラは代表的な経口感染症の1つで、コレラ菌で汚染された水や食物を摂取することによって感染する



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧(1週)  
P.13-19



1週のデータ  
P.20-27



# 発生動向総覧

第1週コメント 1月17日集計分

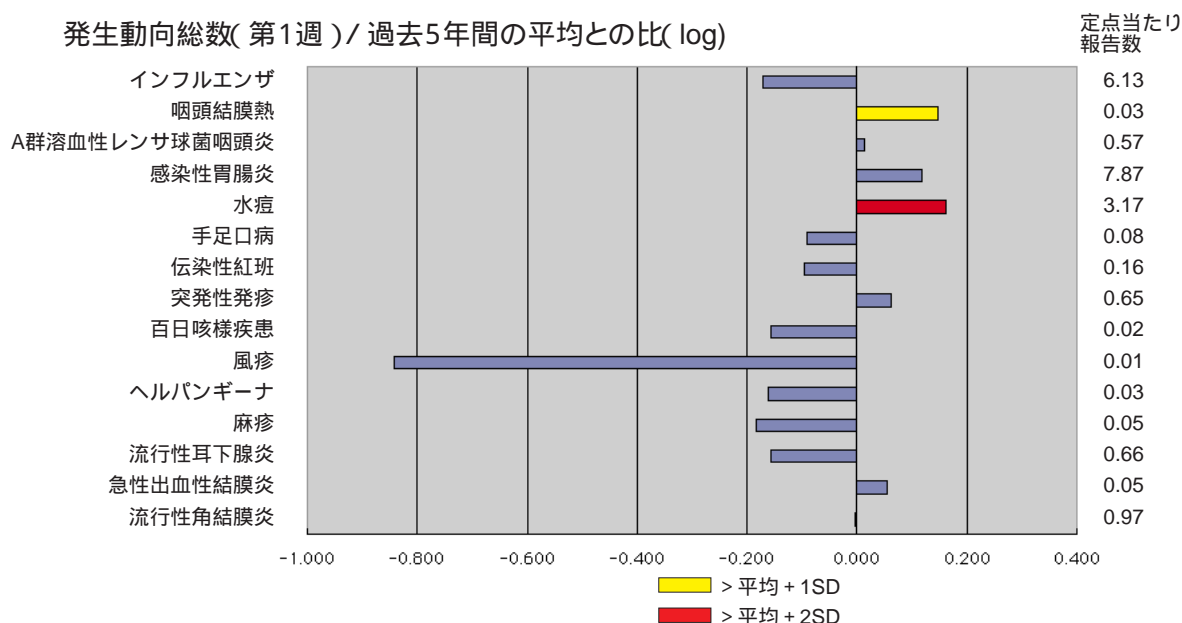
## 全数報告の感染症

- 1類感染症の報告はない。
- 2類感染症: 細菌性赤痢14例(推定感染地: インド5例、日本国内4例、インドネシア1例、ペルー1例、フィリピン1例、タイ1例、不明1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症は4例報告されている。
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例
  - 急性ウイルス性肝炎11例
    - A型7例\_\_全て国内感染
    - B型2例\_\_ともに性行為感染
    - C型2例\_\_ともに感染経路不明
  - クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発型) 後天性免疫不全症候群5例、ツツガムシ病10例、梅毒5例、破傷風1例。

## 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘の報告が全国的にかなり多くなっている。流行は全国的に見られるが、中でも報告が多いのは、宮崎県の定点当たり7.8、佐賀県の6.5、大分県の5.9、新潟県の5.6、福井県の5.2などである。患者の年齢は1～4歳が最も多く、この年齢階級に全体の68%が入っている。インフルエンザは、奈良県で定点当たり報告数16.5、和歌山県で11.3、愛知県で11.0、宮城県で10.4、大阪府で10.2と多くなっている。(インフルエンザ流行についての詳細な解説と分離ウイルスについては4ページインフルエンザ流行情報参照)咽頭結膜熱は非流行期であるが、患者報告が散見されている。

発生動向総数(第1週)/過去5年間の平均との比(log)

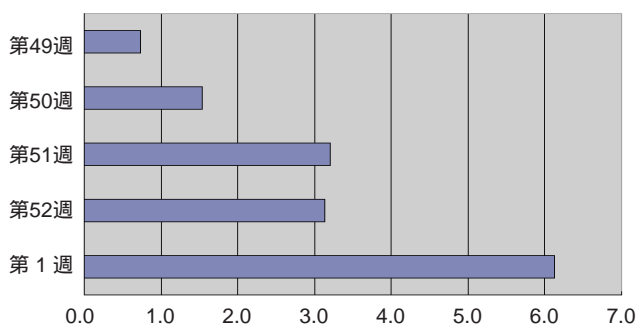


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合緑で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

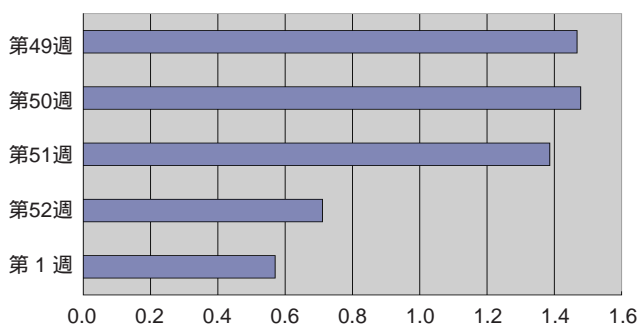
## 最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザ患者の定点当たり報告数は依然増加中であり、前週の約2倍になっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎は、流行曲線が既にピークを形成し、患者の定点当たり報告数は徐々に減少傾向にある。水痘は全国的に流行が見られ、患者の定点当たり報告数も漸増中である。麻疹は集団発生が複数の都道府県で観察されており、全体的にも患者数に増加傾向が見られる。麻疹は例年春にかけ流行曲線が上昇するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。

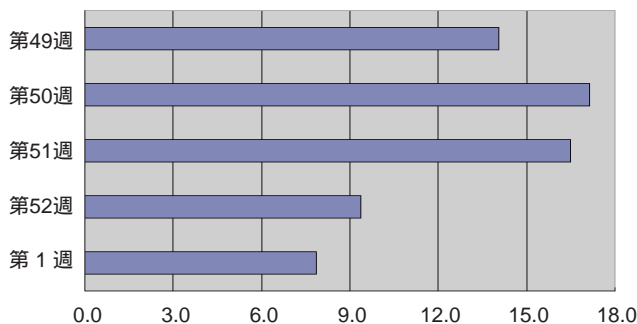
インフルエンザ



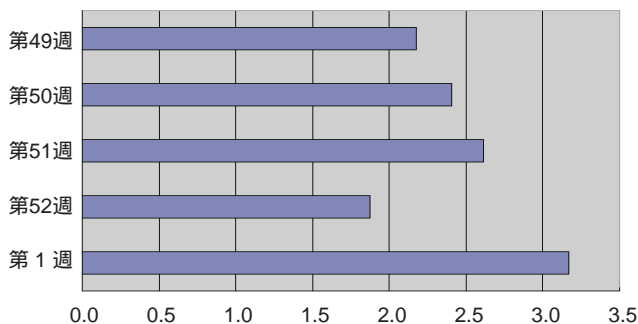
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



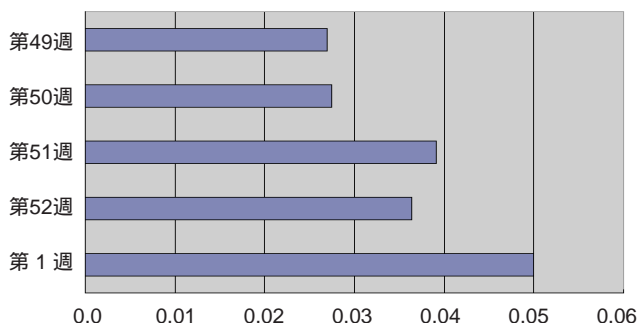
感染性胃腸炎



水痘



麻疹



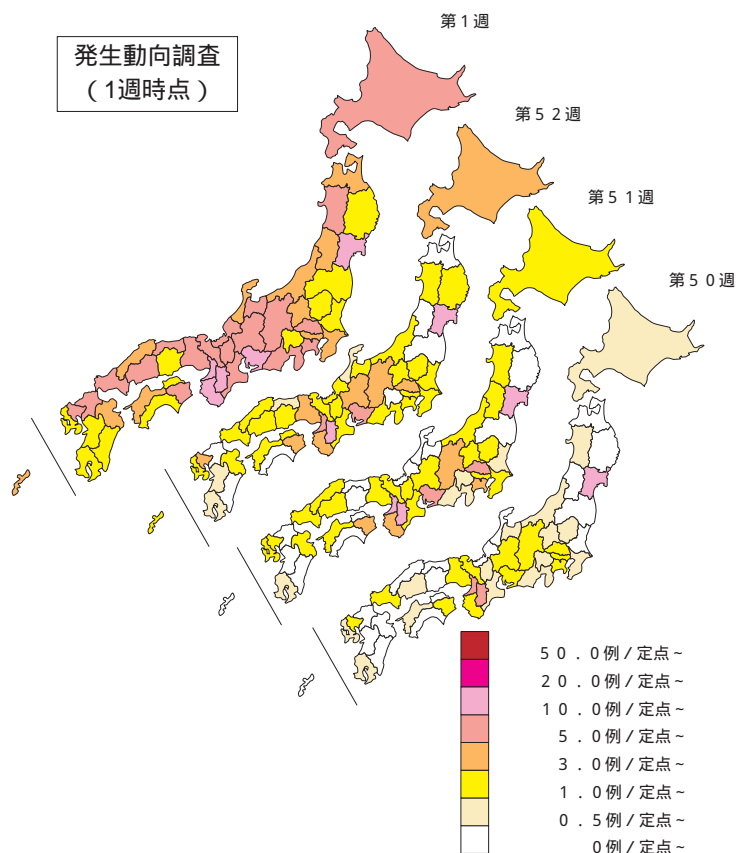


# 注目すべき感染症

## インフルエンザ流行状況

2000年第1週(1月3日～1月9日)現在、全国レベルの報告患者数は定点当たり6.1で、1999年第51週の3.2、第52週の3.1と比べると約2倍に増加しており、今後も、増加が予想される。都道府県別では、以下の地図グラフでみられるように、多数の都道府県で、患者報告数は増加傾向にあり、特に奈良、和歌山、愛知、宮城、大阪で定点当たり10を超えており、地域的に流行期に入っていると考えられる。

1月17日までに、国立感染症研究所ウイルス第1部呼吸器系ウイルス室には、合計906株のウイルス分離報告がはいており、このうち561株がA/ソ連型(H1N1)、344株がA/香港型(H3N2)、1株がB型である。A/ソ連型の報告数が多いのは、集団発生例を多数含んでいるためであり、地域的にみると、A/香港型のみ分離されている地域は福島、栃木、石川、岐阜、滋賀、熊本、鹿児島、沖縄で、A/ソ連型のみ分離されているのは、岩手、三重、鳥取、香川、愛媛、大分である。東京、山梨、岡山、山口、宮崎からはまだ分離報告がない。その他の地域ではA/ソ連とA/香港が混合して分離されている。B型が福岡市にて1件分離されている。全国的にみると、A/香港型とA/ソ連型の混合流行の様相を呈している。小学校の集団発生ではA/ソ連型が分離されている例が多いが、インフルエンザウイルスが分離されていない例も依然多い。



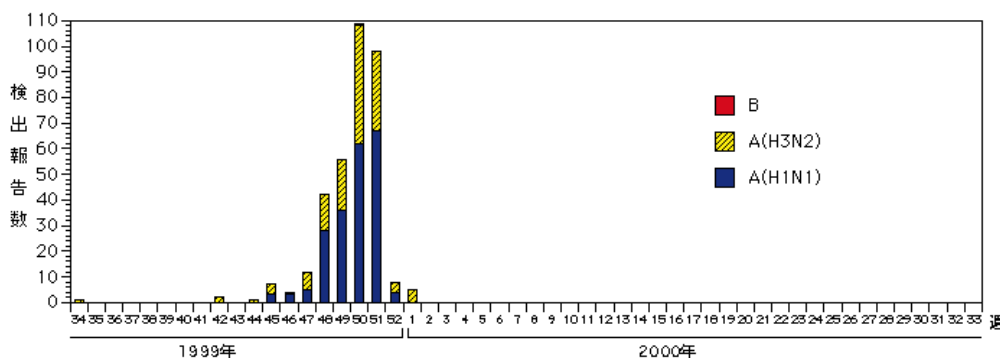


# 病原体情報

## インフルエンザ

検出報告数は徐々に増加している。A/ソ連型とA/香港型が分離されているが、A/ソ連型がやや優勢である。これはA/ソ連型集団発生例からの検体が多数含まれているためであると考えられる。詳細は前項「注目すべき感染症」インフルエンザ流行状況を参照されたい。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン (病原微生物検出情報: 2000年1月13日現在報告数)



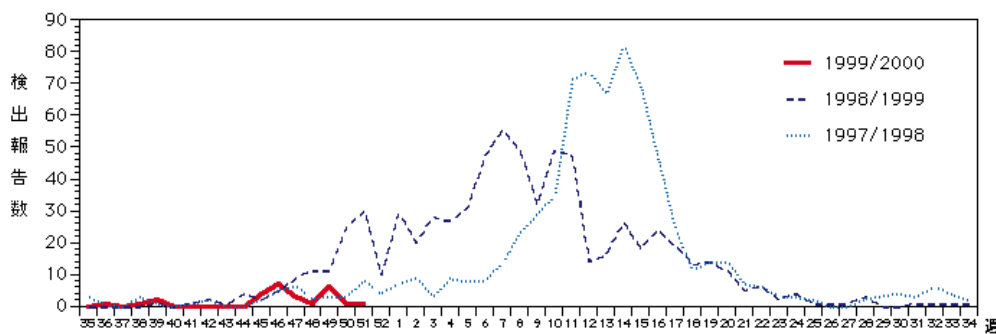
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

## 感染性胃腸炎

岩手県と大阪府、大阪市からはSRSVとロタウイルス両方の分離が報告されている。新潟県、山梨県からはSRSVの分離報告が、香川県からはロタウイルスの分離報告がある。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000)

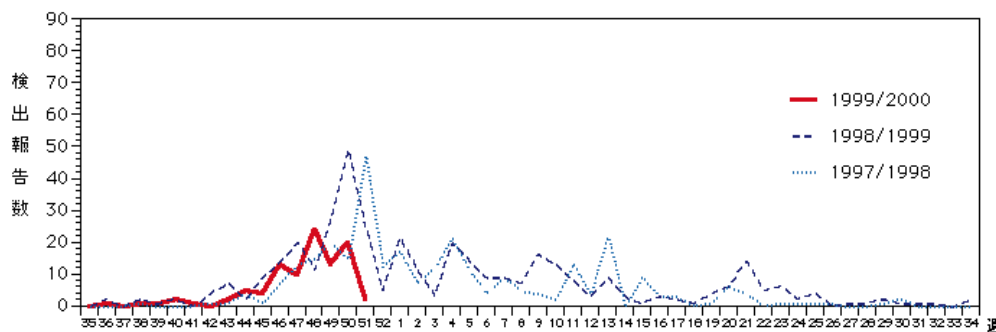
(病原微生物検出情報: 2000年1月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000)

(病原微生物検出情報: 2000年1月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

**IASR** 病原微生物検出情報 からの速報

**千葉県における無症状病原体保有者を主とした腸管出血性大腸菌O26による集団発生事例**

1999年9月に、千葉県内の保育園児を中心に、腸管出血性大腸菌(EHEC)O26:H11による集団感染事例が発生した。本事例の菌陽性者数は13名であったが、初発患者以外の12名はすべて自覚症状がない無症状病原体保有者であった。

9月14日、EHEC O26患者発生が届け出られた。患者は3歳の保育園児で、9月9日に水様便および血便を呈して病院を受診し、検便の結果VT1を産生するEHEC血清型O26が検出された。患者の症状は、受診の翌日には軟便数回、翌々日には普通便に回復と比較的軽症であった。保育園職員および園児の中に、下痢等胃腸炎症状を呈する者はいないことが明らかとなったが、保育園職員(9名)、保育園児(39名)、保育園児家族(83名)の検便の結果、保育園児10名、園児家族2名からEHEC O26を検出した。原因究明のため、保存検食および食材、調理器具等のふき取り、排水等について検査が行われたが、原因菌は検出されず、汚染経路を特定することはできなかった。

本事例は有症者が1名のみの集団発生であったにもかかわらず、終息したのは発生から80日後の12月3日であった。終息まで日数がかかった原因は、菌陽性者の排菌が長引いたことにある。初発患者は12日間のホスホマイシン投与の後整腸剤(乳酸菌製剤)が処方され、受診の2日後に症状は回復したが、排菌は61日間続いた。無症状者12名のうち2名は菌陽性が判明後直ちに抗生剤が投与され、以後再排菌は認められなかった。残りの10名は、抗生剤の投与は行われず整腸剤が処方され、1名は次の検査で菌陰性となったが、9名は4～35日間排菌が続き、平均排菌日数は15.7日であった。検便は、1～3日おきに行われ、最も排菌が長かった患者では検便回数は20回以上に及んだ。

千葉県衛生研究所 内村眞佐子 小岩井健司  
 千葉県安房保健所 木内良春  
 千葉県安房保健所鴨川地域保健センター 保田優子  
 (IASR1月号より)

**フィリピンから帰国後に4類感染症である Dengue 熱・ジアルジア症を同時発症した14歳男児の一例**

症例: 日本在住の14歳男児。  
 主訴: 発熱、全身倦怠感、眼窩痛、腹痛、下痢。  
 既往歴: 1995年までは毎夏フィリピンに滞在。  
 病歴: 1999年8月17日～31日まで母の実家があるフィリピンマニラ市に滞在、現地では特に体



調の変化はなく帰国。9月4日より38 台の発熱出現。9月5日発熱、倦怠感、腹痛を主訴に外来を受診。高熱は持続し、全身の筋肉痛、眼窩痛に加え9月6日早朝より緑色水様便頻回、尿量も低下し再診。白血球減少、血小板減少、脱水傾向があり入院した。

入院時現症: 体温38.5 、意識清明、眼球結膜充血、頬部紅斑あり。咽頭発赤軽度。頸部・腋窩・鼠径部に腫大したリンパ節を触知。肝脾腫なし。

経過: デングウイルスIgM capture ELISAでIgM抗体陰性、rapid kitによる血清IgG、IgM抗体は陰性であったが、血清を材料としたRT-PCR法でDEN3、DEN共通プライマー陽性、病日9の血清ではIgM capture ELISAでIgM抗体陽性、rapid kitでもIgG、IgM陽性となった。血清デングウイルスHI価は1:80から1:20,480以上と有意に上昇していた。入院時の便検体からジアルジアの栄養体が多数検出され、本症はデング熱(DF)による肝機能障害、発熱、血小板減少ならびにジアルジア症による下痢、腹痛と診断した。

第5病日から37 以下に解熱傾向となり、手掌、前腕、足背から掻痒を伴った紅斑が出現し翌日には下腿へ拡大、小出血斑を混じていた。低下していた血小板、白血球数は第7病日から回復傾向となり、第14病日に正常化した。

ジアルジア症に対しては第2病日からメロニダゾール750mg/日内服を10日間続け、第5病日、第12病日の再検査では虫体、嚢子ともに陰性となった。

海外からの帰国者の発熱、下痢症例に接したときに注意すべき疾患(4類感染症)として、その概略を報告した。

東京慈恵会医科大学付属病院小児科 宮塚幸子 富川盛光 藤原優子 衛藤義勝  
東京慈恵会医科大学熱帯医学講座 熊谷正広 大友弘士  
国立感染症研究所ウイルス第1部 高崎智彦 山田堅一郎 倉根一郎  
国立感染症研究所感染症情報センター 岡部信彦  
(IASR 1月号より)



# 海外感染症情報

## トピックス

### WHO情報(1月13日)

ドイツで西アフリカからのラッサ熱輸入例死亡

Bavaria保健局は、23歳の女子学生がラッサ熱と臨床的に診断され、HamburgのBernard-Nocht研究所でPCRとウイルス培養で確認されたことをWHOに報告した。

報告によれば、この学生は昨年11月から12月をガーナとコートジボアールで過ごしたが、1月2日に発熱が出現した。彼女はポルトガルのリスボン経由で1月7日ドイツに帰国し、インフルエンザ様症状で直ちに総合病院に入院した。症状が急速に悪化したため、1月11日 Wuerzburg Hospitalの熱帯医学科に転院し隔離病棟で検査、治療を行ったが死亡した。その他の人への感染の危険性は、血液や体液との接触が必要なため極めて低いと考えられているが、患者の関係者に対して接触がなかったか調査が行われている。ドイツ当局は、ポルトガルからドイツへの同便に搭乗した旅行者にもし体調に異常が



みられた場合、保健当局に連絡するよう警告した。WHOはポルトガル保健当局と協力し、旅客らがこの学生と旅行期間中およびポルトガルにおいて接触がなかったか追跡している。

### WHO情報(1月7日)

ハンガリーで髄膜炎菌性髄膜炎の警告

保健省は1999年12月初旬Kecskemet市および Szabadszallas 町のBacs-Kiskun地区で始まった髄膜炎菌性疾患の流行をWHOに報告した。1月5日までに患者30名および死者4名が報告された(致死率13.3%)。ブダペストのNational Epidemiology Centreで髄膜炎菌B群およびC群が確認された。

### WHO情報(1月14日)

ブラジルの国立公園で黄熱患者の報告

1月13日にブラジルの国立疫学センター(the National Epidemiology Center (CENEPI))は3名の黄熱患者が試験検査で確認されたことをWHOに報告した。患者3名とも12月の休暇中、ブラジル北部約250kmに位置するGoias州 Alta ParaisoのChapada dos Veadeiros国立公園で感染した。この公園は黄熱の地域的流行がみられる森林地帯にあり、これら患者は森林型黄熱の感染によるものだった。患者のうち2名(1名は死亡)はブラジリア、もう1名はリオデジャネイロの住人であった。





## 感染症の話

### コレラ

コレラは代表的な経口感染症の1つで、コレラ菌( *Vibrio cholerae* O1およびO139のうちコレラ毒素産生性の菌 )で汚染された水や食物を摂取することによって感染する。経口摂取後、胃の酸性環境で死滅しなかった菌が、小腸下部に達し、定着・増殖し、感染局所で菌が産生したコレラ毒素が細胞内に侵入して病態を引き起こす。

#### 疫学

現在までにコレラの世界的流行は7回にわたって記録されている。1817年に始まった第1次世界流行以来、1899年からの第6次世界大流行までは、すべてインドのベンガル地方から世界中に広がり、原因菌はO1血清型の古典コレラ菌であったと考えられる。しかし、1961年にインドネシアのセレベス島(現スラワシ島)に端を発した第7次世界大流行は、O1血清型のエルトルコレラ菌である。この流行が現在も世界中に広がっていて、終息する気配が無い。WHOに報告されている世界の患者総数は、ここ数年20～30万人であるが、実数はこれを上回っていると推察できる。

一方、O139コレラ菌によるコレラは、新興感染症の1つで、1992年インド南部のマドラス(現チェンナイ)で発生し、またたく間にインド亜大陸に広がった。現在もインドおよびバングラデシュにおいてO1エルトルコレラ菌と交互に、あるいは同時に流行を繰り返している。インド亜大陸の近隣諸国においてもO139コレラの散発発生報告はあるが、流行はまだ報告されていない。

わが国におけるコレラは、最近ほとんどが輸入感染症として発見される。すなわち熱帯・亜熱帯のコレラ流行地域への旅行者の現地での感染例である。国内での感染例の報告もあるが、輸入魚介類などの汚染が原因であろうと推定されていて、二次感染例と思われる例はほとんど無い。流行もここ数年は報告されていない。輸入感染症例としては、O1エルトルコレラ菌による症例がほとんどであるが、O139コレラ菌によるコレラも稀に発見されている。

#### 病原体

コレラ菌の学名は *Vibrio cholerae* である。分類学的に *V. cholerae* は菌体表面のO抗原(リポ多糖体)の違いによって、現在205種類(11種類は未発表)に分類されている。このうち、コレラを起こすのはO1およびO139血清型のみである。コレラの典型的な臨床症状を起こすのはコレラ毒素であることがわかっているので、厳密にいうと、コレラの原因菌はコレラ毒素を産生する *V. cholerae* O1およびO139である。

#### 臨床症状

通常1日以内の潜伏期の後、下痢を主症状として発症する。一般に軽症の場合には軟便の場合が多く、下痢が起こっても回数が1日数回程度で、下痢便の量も1日1リットル以下である。しかし重症の場合には、腹部の不快感と不安感に続いて、突然下痢と嘔吐が始まり、ショックに陥る。下痢便の性状は“米のとぎ汁様( rice water stool )”と形容され、白色ないし灰白色の水様便(写真1)で、多少の粘液が混じり、特有の甘くて生臭い臭いがある。下痢便の量は1日



写真1. 典型的な米のとぎ汁様の下痢便

10リットルないし数十リットルに及ぶことがあり、病期中の下痢便の総量が体重の2倍になることも珍しくない。

大量の下痢便の排泄に伴い高度の脱水状態となり、収縮期血圧の下降、皮膚の乾燥と弾力の消失、意識消失、嘔声あるいは失声、乏尿または無尿などの症状が現れる。低カリウム血症による痙攣が認められることもある(写真2)。この時期の特徴として、眼が落ち込み頬がくぼむいわゆる“コレラ顔貌”を呈し、指先の皮膚にしわが寄る“洗濯婦の手(washwoman's hand)”, 腹壁の皮膚をつまみ上げると元にもどらない“スキン・テンティング(skin tenting)”(写真3A)などが認められる。通常発熱と腹痛は伴わない。



写真2 .重症コレラ患者の痙攣

### 病原診断

患者便からコレラ毒素を産生するO1またはO139血清型のコレラ菌を検出することによって診断する。検査材料としては新鮮な下痢便を用いる。コレラ毒素を検出する方法としては、逆受身ラテックス凝集反応(RPLA)やELISA法などの免疫学的な方法と、コレラ毒素遺伝子を検出するDNAプローブ法やPCR法が用いられる。

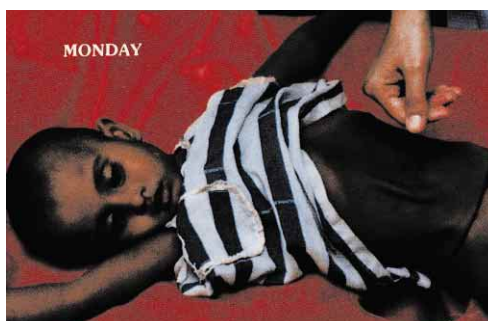
### 治療と予防

治療は大量に喪失した水分と電解質の補給が中心で、GES( glucose-electrolytes-solution )の経口投与や静脈内点滴注入を行う。WHOは塩化ナトリウム3.5g、塩化カリウム1.5g、グルコース20g、重炭酸ナトリウム2.5gを1リットルの水に溶かした経口輸液( Oral Rehydration Solution, ORS )の投与を推奨している。ORSの投与は特に開発途上国の現場では、滅菌不要、大量に運搬可能、安価などの利点が多く、しかも治療効果も良く極めて有効な治療法である。写真3はORSによって重症コレラ患者が短期間に回復することを示した写真で、入院した乳児が2日後には元気に退院していることが示されている。



重症患者の場合には抗生物質の使用が推奨されている。その

写真3 .ORSの治療効果( バングラデシュ国際下痢疾患研究所 提供 )



A. 月曜日に高度の脱水症状を呈して入院( 眼窩がくぼみ、スキン・テンティングが著明 )



B. ORSを投与中

C. 母親が抱いて退院( 臨床症状は軽快しているが、患者はコレラ菌を1～2週間は排菌する )

利点として、下痢の期間の短縮や菌の排泄期間が短くなることがあげられる。第一選択薬としては、ニューキノロン系薬剤、テトラサイクリンやドキシサイクリンがある。もし菌がこれらの薬剤に耐性の場合には、エリスロマイシン、トリメプリム・スルファメキサゾール合剤やノルフロキサシンなどが有効である。

予防としては、流行地で生水、生食品を喫食しないことが肝要である。経口ワクチンの開発が試みられているが、現在のところ実用化されていない。

#### 感染症新法中でのコレラの取扱い

コレラは感染症新法第2類感染症に属しており、コレラ、もしくは病原体保有者であると診断した医師は、直ちに最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出なくてはならない。患者は第二種感染症指定医療機関に原則として入院となるが、無症状者は入院の対象とはならない。

報告のための基準は、以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

(材料)便など

・病原体の検出

*V.cholerae* O1またはO139 を分離・同定し、かつ、コレラ毒素産生性あるいはコレラ毒素遺伝子の保有が確認された場合

疑似症の診断

臨床所見、コレラ流行地への渡航歴、集団発生の状況などにより判断する

(鑑別診断)食中毒、その他の感染性腸炎等

《備考》

・法による入院の勧告は、無症状のものは対象とならない。

#### 学校保健法中でのコレラの取扱い

コレラは学校において予防すべき伝染病第1種に定められており、治癒するまで出席停止となる。

(国立感染症研究所 所長 竹田美文)



## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

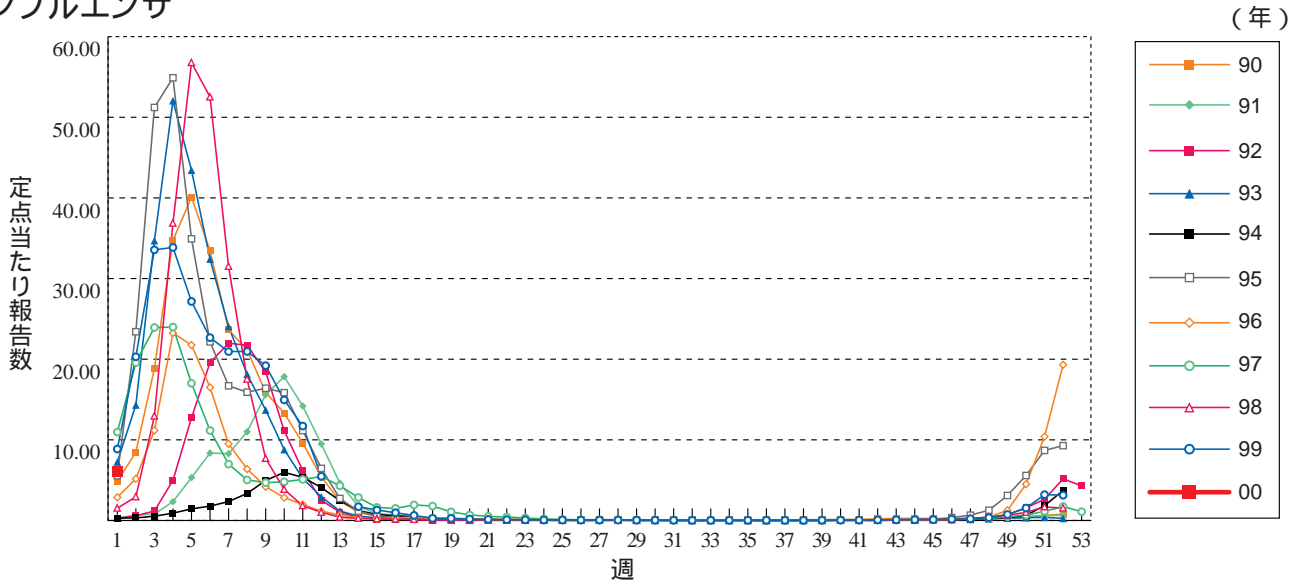
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)



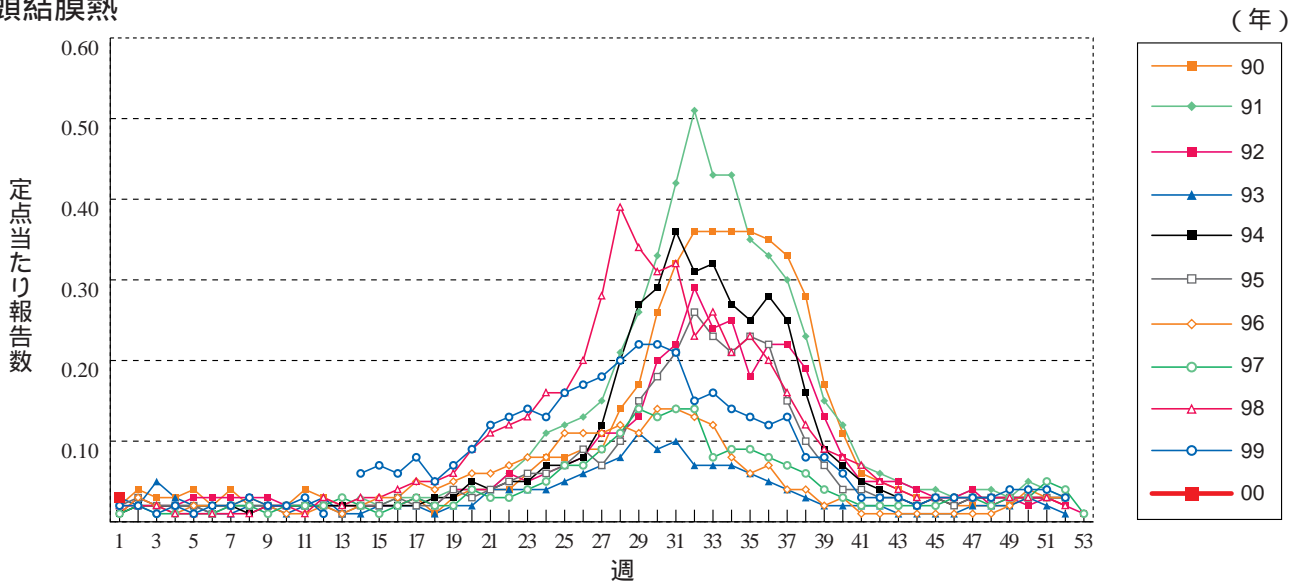


**グラフ総覧(1週)**

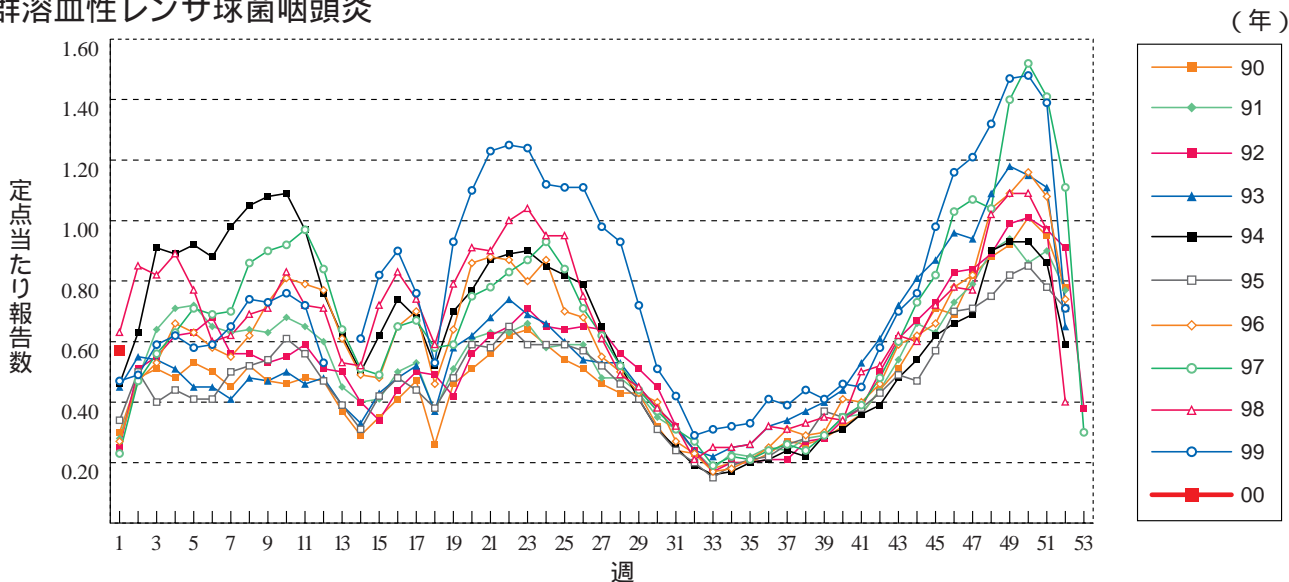
**インフルエンザ**



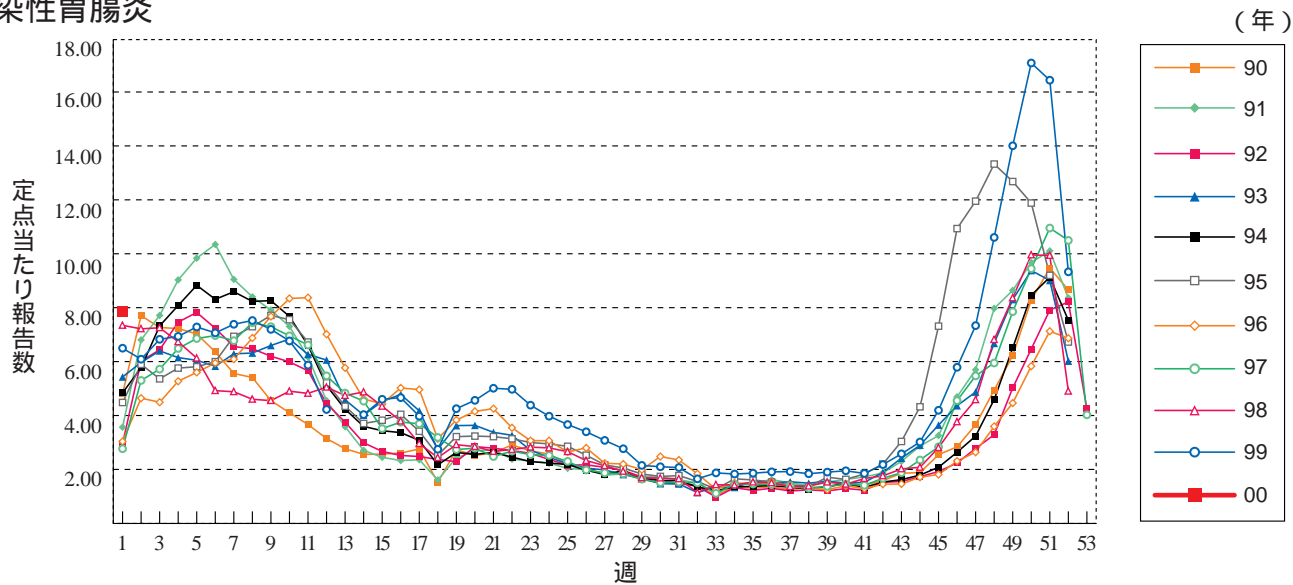
**咽頭結膜熱**



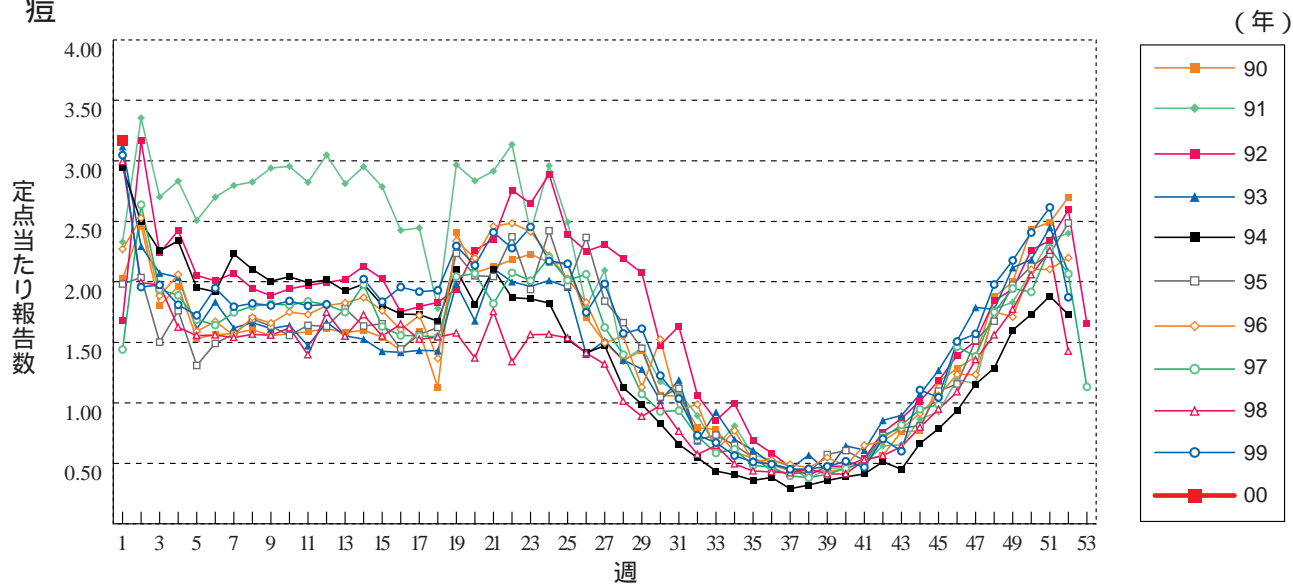
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



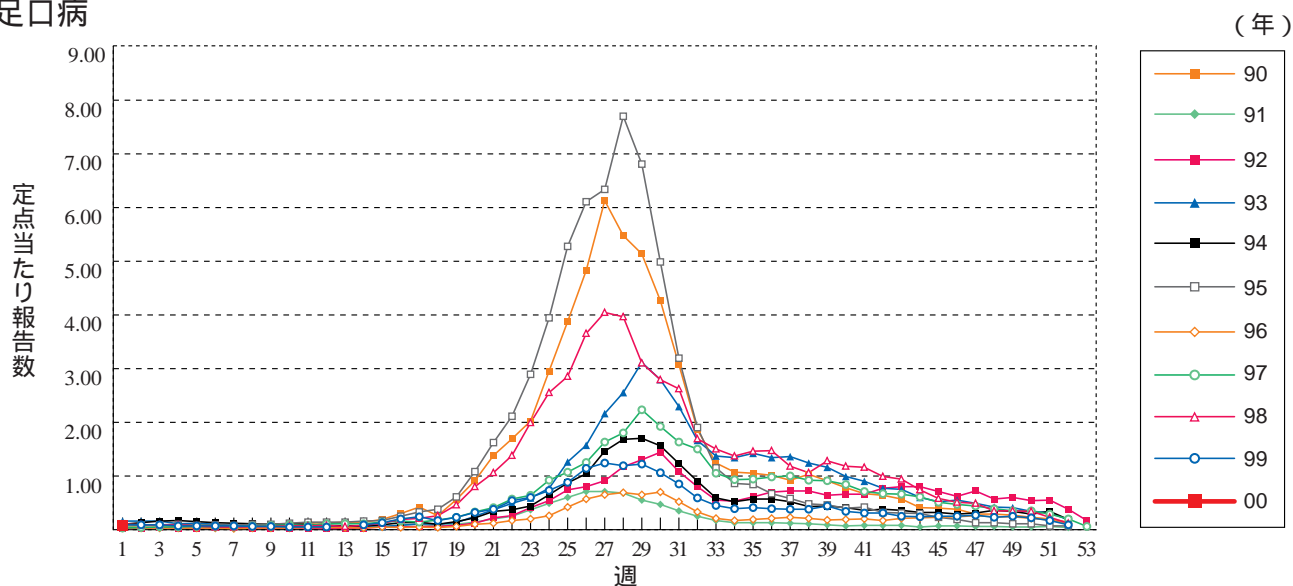
感染性胃腸炎



水痘

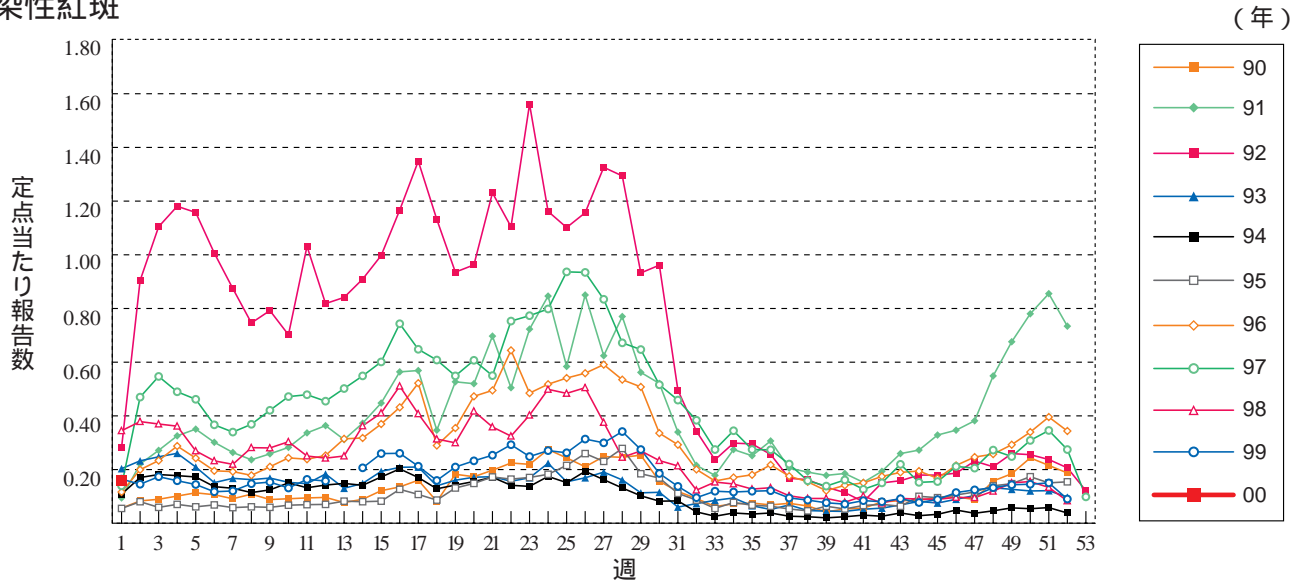


手足口病

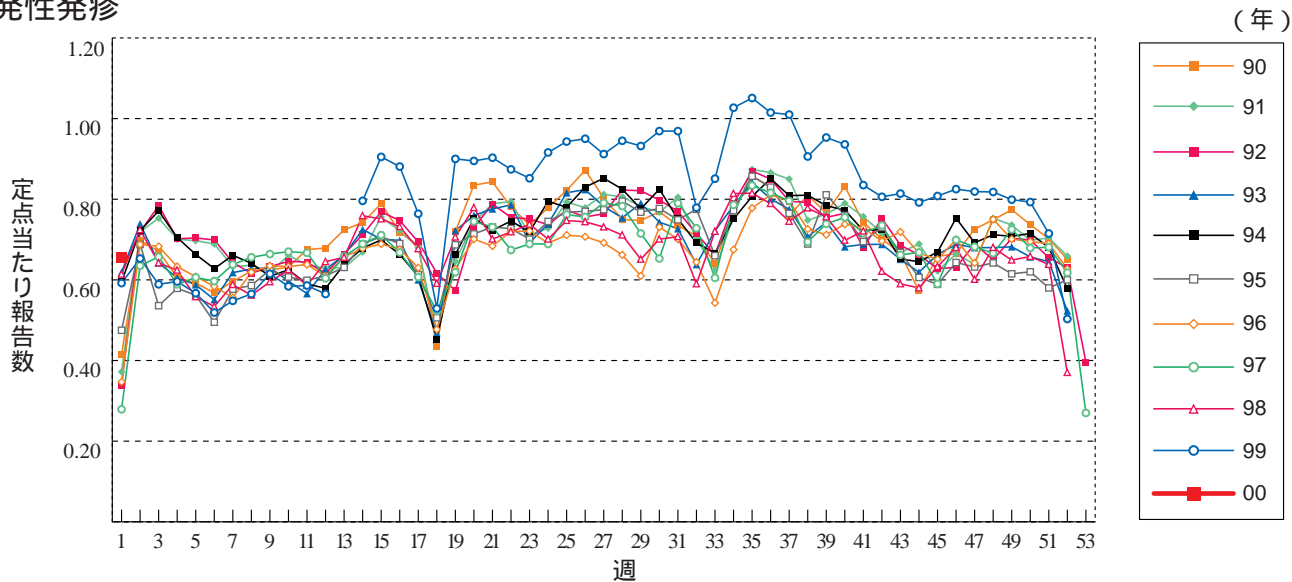




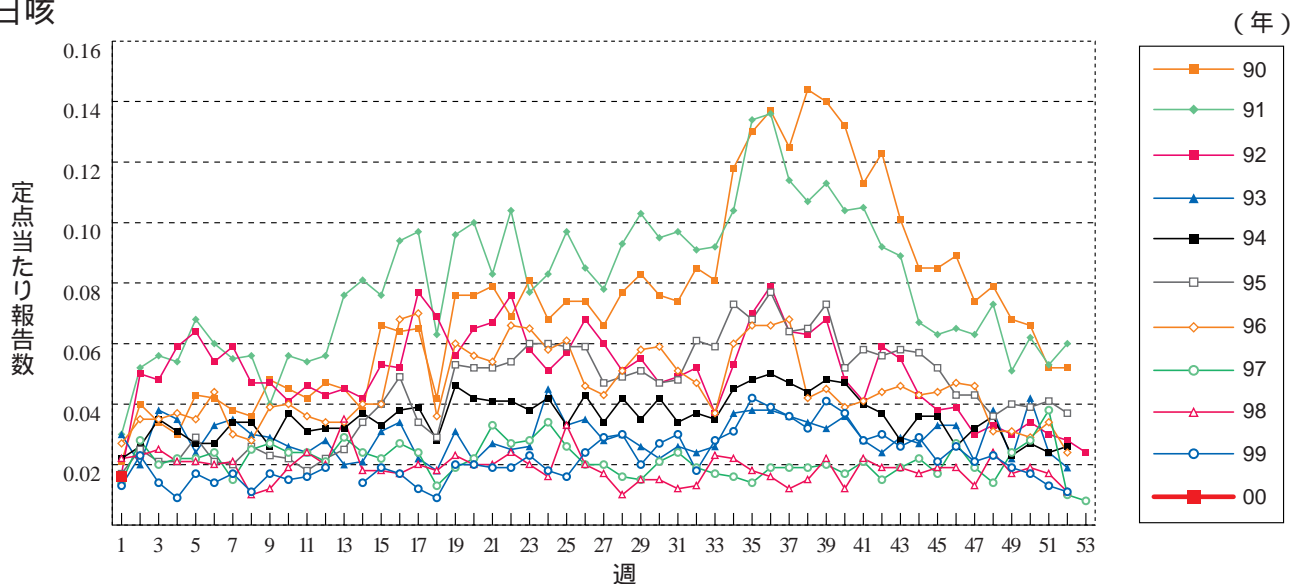
伝染性紅斑



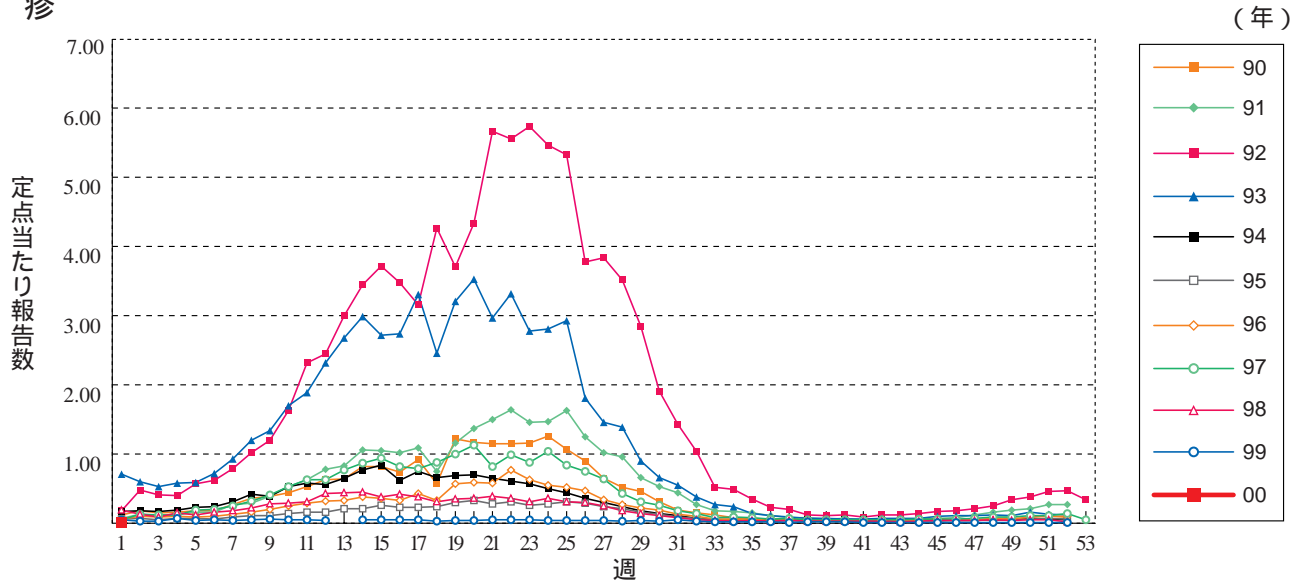
突発性発疹



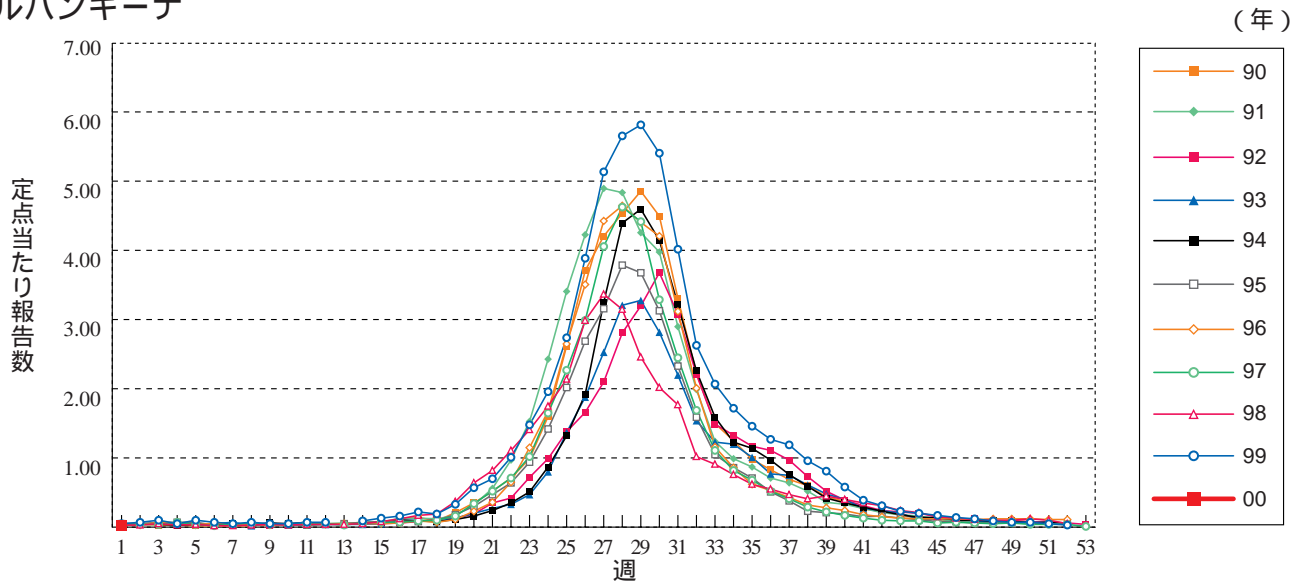
百日咳



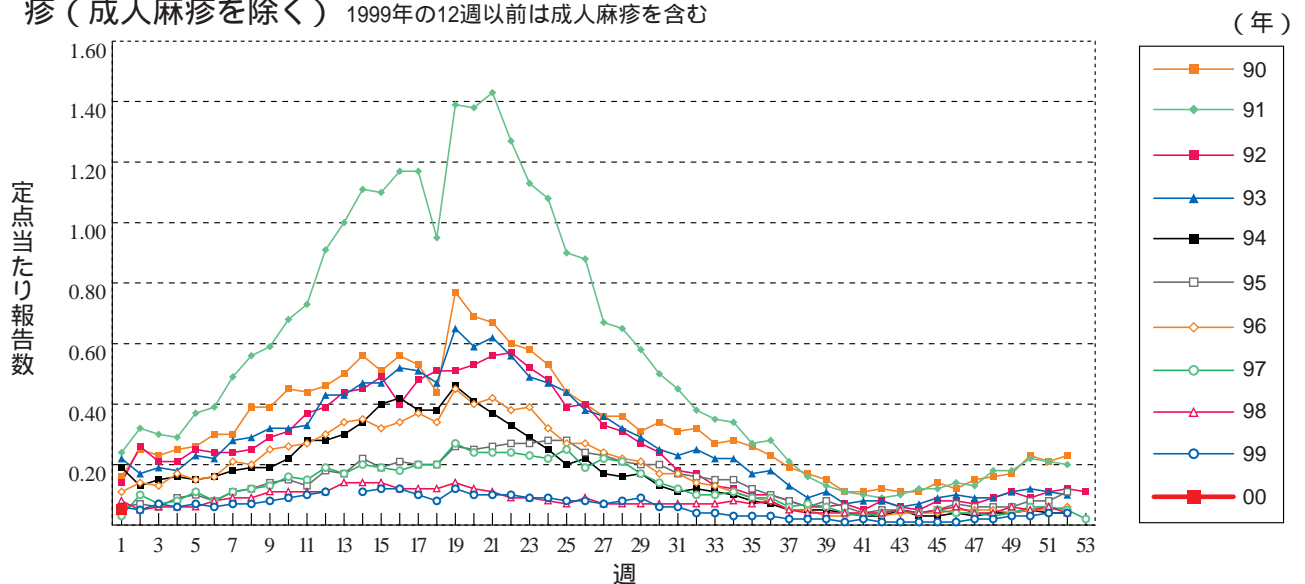
風 疹



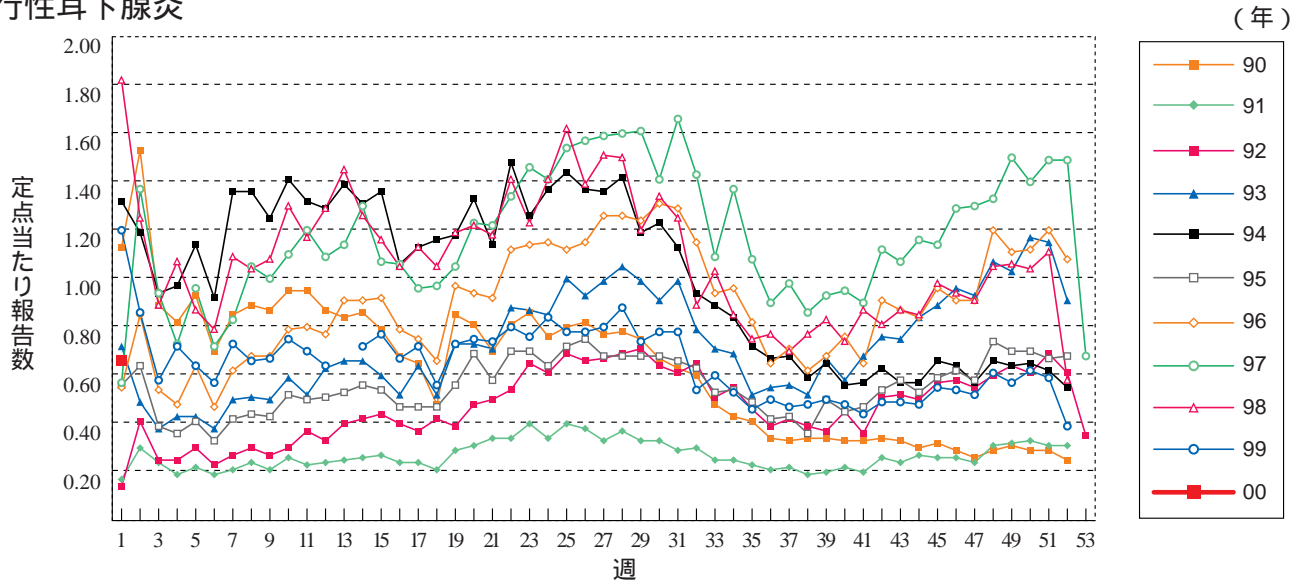
ヘルパンギーナ



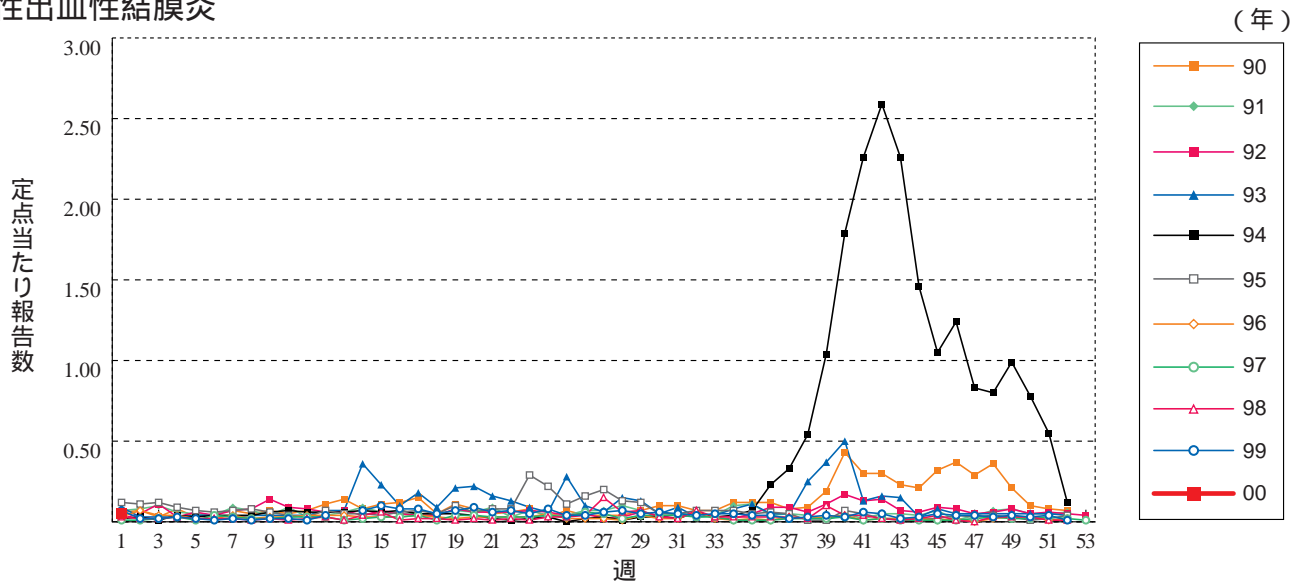
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



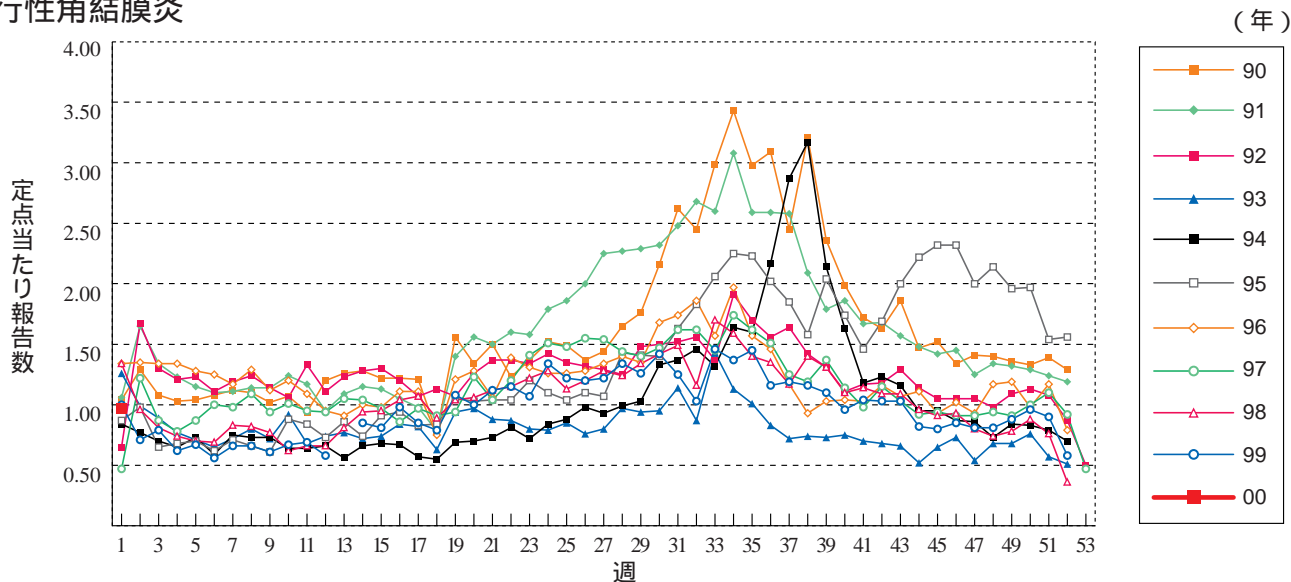
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

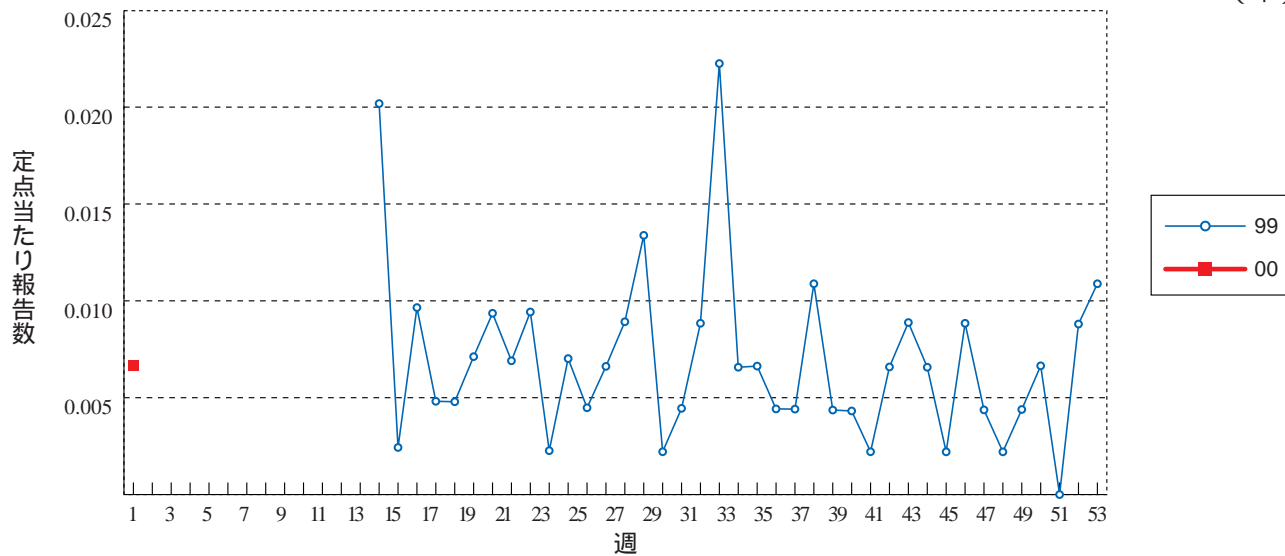


流行性角結膜炎



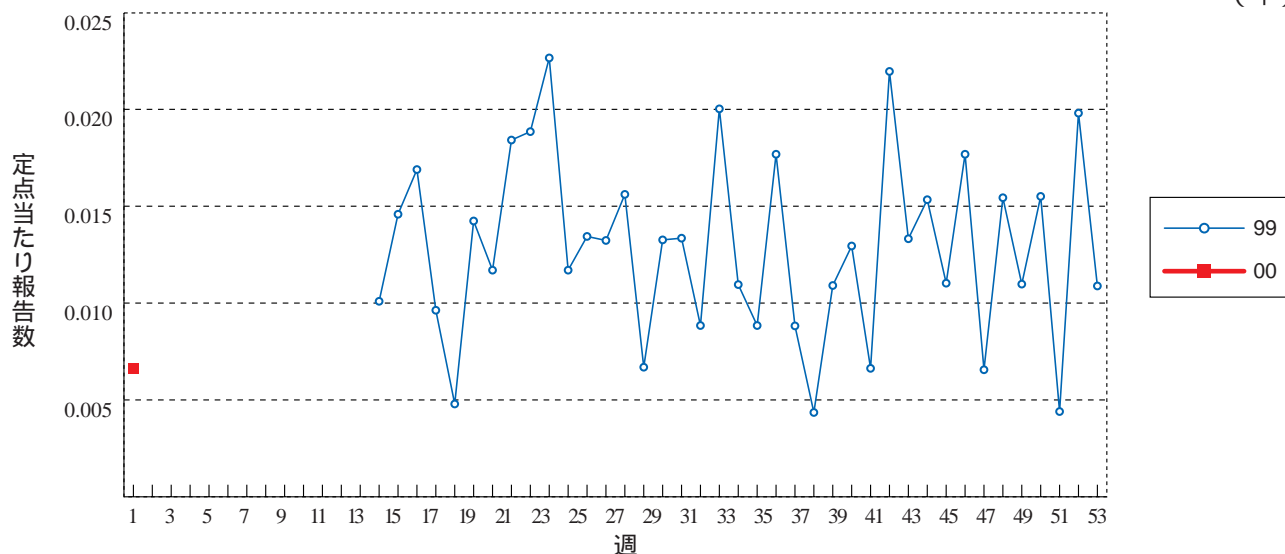
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



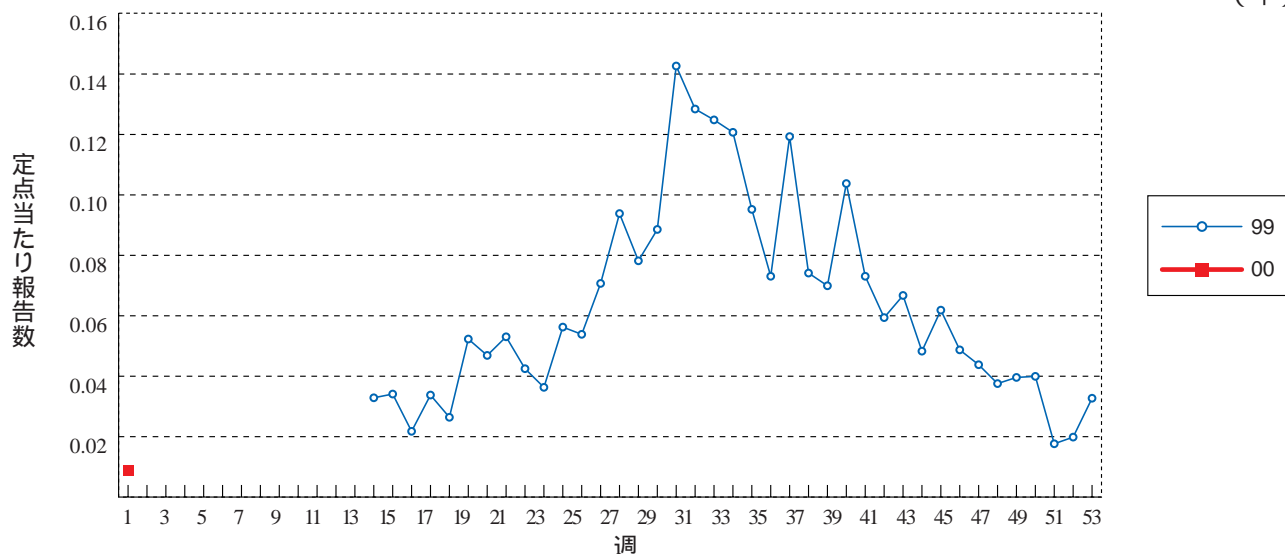
細菌性髄膜炎

(年)



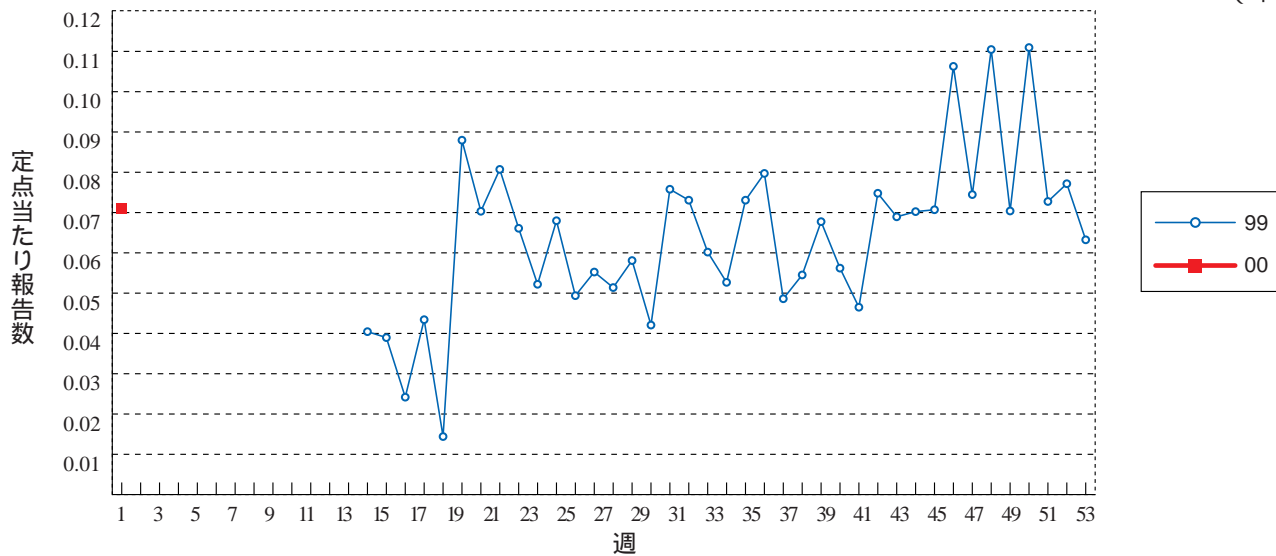
無菌性髄膜炎

(年)



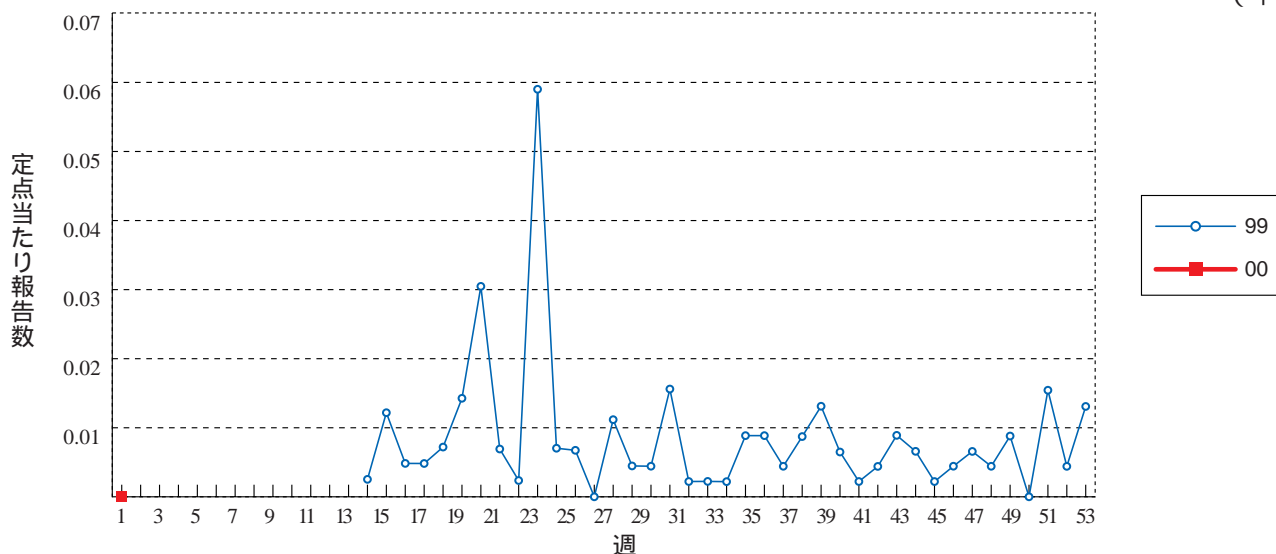
マイコプラズマ肺炎

(年)



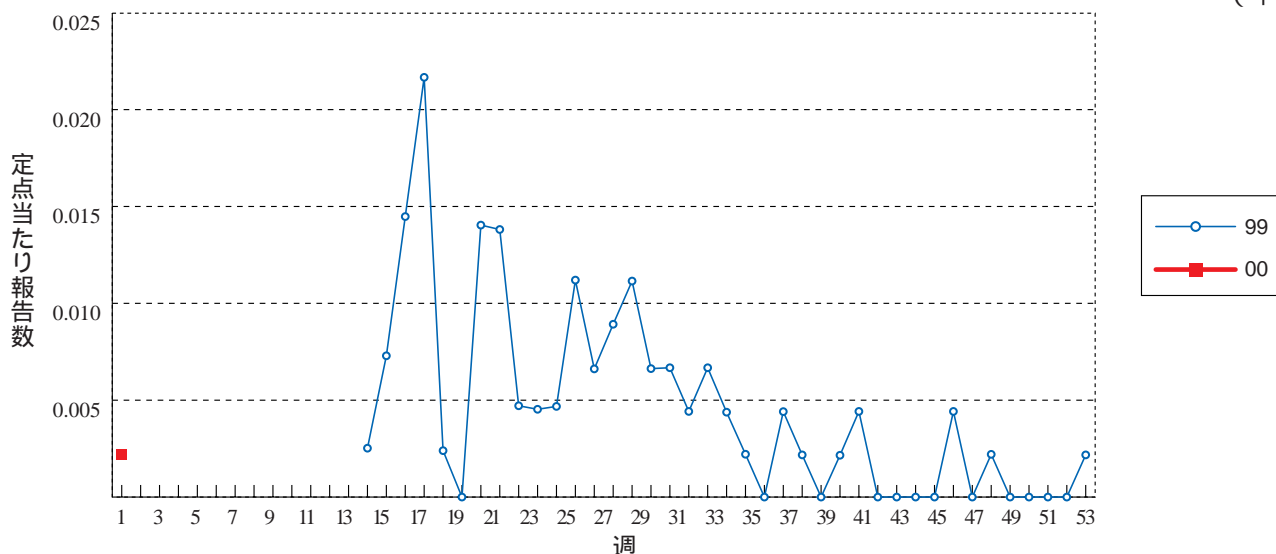
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 1週のデータ

注) 表中の報告数は1月17日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	14	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	-	4	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	1	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	5	5	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	27224	6.13	94	0.03	1643	0.57	22758	7.87	9159	3.17	222	0.08	460	0.16	1892	0.65	45	0.02
北海道	1489	6.53	3	0.02	94	0.65	272	1.89	423	2.94	2	0.01	59	0.41	93	0.65	1	0.01
青森県	192	3.00	-	-	24	0.59	93	2.27	118	2.88	-	-	16	0.39	20	0.49	1	0.02
岩手県	174	2.81	-	-	20	0.53	177	4.66	138	3.63	-	-	3	0.08	31	0.82	2	0.05
宮城県	1007	10.38	-	-	37	0.63	1108	18.78	292	4.95	1	0.02	14	0.24	73	1.24	-	-
秋田県	457	8.31	2	0.06	38	1.09	325	9.29	96	2.74	4	0.11	20	0.57	16	0.46	-	-
山形県	163	3.40	-	-	22	0.73	201	6.70	126	4.20	1	0.03	5	0.17	27	0.90	4	0.13
福島県	198	2.48	1	0.02	34	0.71	391	8.15	198	4.13	1	0.02	17	0.35	32	0.67	1	0.02
茨城県	282	2.54	1	0.01	40	0.56	467	6.49	177	2.46	2	0.03	4	0.06	23	0.32	-	-
栃木県	136	2.00	5	0.11	31	0.69	431	9.58	134	2.98	1	0.02	1	0.02	31	0.69	-	-
群馬県	449	4.49	-	-	53	0.85	457	7.37	219	3.53	1	0.02	3	0.05	62	1.00	1	0.02
埼玉県	1324	7.44	1	0.01	64	0.57	955	8.53	377	3.37	8	0.07	24	0.21	54	0.48	1	0.01
千葉県	905	4.31	3	0.02	102	0.76	1185	8.84	367	2.74	3	0.02	28	0.21	73	0.54	1	0.01
東京都	818	4.60	7	0.05	30	0.21	797	5.61	302	2.13	4	0.03	25	0.18	43	0.30	-	-
神奈川県	1372	5.47	1	0.01	41	0.25	1033	6.42	386	2.40	3	0.02	48	0.30	82	0.51	-	-
新潟県	329	3.32	-	-	47	0.78	508	8.47	333	5.55	1	0.02	29	0.48	39	0.65	2	0.03
富山県	310	6.46	-	-	17	0.59	122	4.21	111	3.83	-	-	-	-	30	1.03	1	0.03
石川県	174	3.63	-	-	16	0.55	250	8.62	124	4.28	1	0.03	-	-	21	0.72	-	-
福井県	180	5.63	-	-	22	1.00	281	12.77	115	5.23	-	-	-	-	30	1.36	3	0.14
山梨県	104	2.67	-	-	9	0.38	176	7.33	47	1.96	1	0.04	-	-	8	0.33	-	-
長野県	781	9.64	5	0.10	73	1.40	601	11.56	157	3.02	14	0.27	26	0.50	52	1.00	-	-
岐阜県	493	7.70	1	0.02	25	0.61	238	5.80	106	2.59	-	-	5	0.12	21	0.51	-	-
静岡県	731	5.34	-	-	83	0.97	1138	13.23	396	4.60	3	0.03	3	0.03	73	0.85	2	0.02
愛知県	2114	10.95	1	0.01	71	0.39	1193	6.55	518	2.85	13	0.07	12	0.07	88	0.48	4	0.02
三重県	670	9.18	-	-	33	0.73	720	16.00	131	2.91	1	0.02	6	0.13	48	1.07	-	-
滋賀県	321	6.06	2	0.06	12	0.38	118	3.69	58	1.81	1	0.03	-	-	21	0.66	-	-
京都府	839	6.66	4	0.05	18	0.24	458	6.03	99	1.30	2	0.03	7	0.09	28	0.37	2	0.03
大阪府	2755	10.17	7	0.04	53	0.28	718	3.80	271	1.43	8	0.04	7	0.04	83	0.44	3	0.02
兵庫県	1927	9.73	8	0.06	35	0.27	1330	10.39	372	2.91	11	0.09	10	0.08	96	0.75	-	-
奈良県	908	16.51	1	0.03	10	0.29	197	5.63	84	2.40	3	0.09	-	-	15	0.43	-	-
和歌山県	575	11.27	-	-	12	0.38	268	8.38	159	4.97	2	0.06	4	0.13	22	0.69	-	-
鳥取県	185	6.38	4	0.21	50	2.63	288	15.16	85	4.47	-	-	1	0.05	21	1.11	1	0.05
島根県	157	4.24	7	0.30	21	0.91	195	8.48	72	3.13	-	-	2	0.09	9	0.39	1	0.04
岡山県	229	2.79	-	-	23	0.43	612	11.33	173	3.20	6	0.11	10	0.19	20	0.37	1	0.02
広島県	790	6.64	6	0.08	38	0.51	569	7.59	241	3.21	3	0.04	5	0.07	50	0.67	-	-
山口県	393	5.61	3	0.06	20	0.41	434	8.86	68	1.39	3	0.06	1	0.02	42	0.86	2	0.04
徳島県	227	5.97	-	-	13	0.57	245	10.65	91	3.96	-	-	-	-	20	0.87	-	-
香川県	95	1.86	2	0.06	15	0.47	303	9.47	156	4.88	1	0.03	-	-	23	0.72	-	-
愛媛県	280	4.38	6	0.15	24	0.62	638	16.36	101	2.59	1	0.03	2	0.05	32	0.82	-	-
高知県	108	2.20	-	-	21	0.68	265	8.55	50	1.61	3	0.10	6	0.19	18	0.58	-	-
福岡県	1261	9.01	2	0.03	57	0.73	713	9.14	360	4.62	27	0.35	23	0.29	80	1.03	4	0.05
佐賀県	283	7.26	1	0.04	16	0.70	206	8.96	149	6.48	17	0.74	3	0.13	40	1.74	-	-
長崎県	139	1.99	4	0.09	5	0.11	229	5.20	100	2.27	4	0.09	1	0.02	22	0.50	-	-
熊本県	164	2.02	1	0.02	26	0.53	400	8.16	185	3.78	8	0.16	7	0.14	49	1.00	2	0.04
大分県	222	3.83	1	0.03	39	1.08	386	10.72	213	5.92	31	0.86	19	0.53	33	0.92	-	-
宮崎県	66	1.10	1	0.03	64	1.73	614	16.59	290	7.84	2	0.05	4	0.11	48	1.30	4	0.11
鹿児島県	255	2.63	3	0.05	36	0.61	401	6.80	266	4.51	9	0.15	-	-	36	0.61	1	0.02
沖縄県	193	3.45	-	-	9	0.26	52	1.53	125	3.68	15	0.44	-	-	14	0.41	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年1週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	34	0.01	98	0.03	132	0.05	1893	0.66	28	0.05	586	0.97	3	0.01	3	0.01	4	0.01
北海道	3	0.02	-	-	1	0.01	140	0.97	1	0.03	14	0.48	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	1	0.02	2	0.05	39	0.95	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	1	0.03	7	0.18	10	0.26	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.05	3	0.05	4	0.07	18	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	2	0.06	1	0.03	22	0.63	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	14	0.47	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
福島県	2	0.04	5	0.10	7	0.15	18	0.38	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	-	-	13	0.18	24	0.33	1	0.06	47	2.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	7	0.16	7	0.16	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	117	1.89	1	0.06	14	0.88	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.03	12	0.11	1	0.01	92	0.82	-	-	21	0.84	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.01	4	0.03	21	0.16	85	0.63	3	0.09	46	1.31	1	0.11	-	-	-	-
東京都	2	0.01	12	0.08	2	0.01	89	0.63	-	-	18	1.29	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.01	3	0.02	2	0.01	68	0.42	1	0.03	23	0.77	-	-	1	0.13	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	24	0.40	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	-	-
富山県	3	0.10	2	0.07	-	-	7	0.24	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	2.29	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	-	-	-	-	51	0.98	2	0.20	13	1.30	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	1	0.02	-	-	-	-	15	0.37	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	3	0.03	-	-	126	1.47	-	-	9	0.45	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	2	0.01	6	0.03	121	0.66	-	-	35	1.00	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	3	0.07	37	0.82	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	4	0.13	16	0.50	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	5	0.07	40	0.53	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	1	0.01	16	0.08	60	0.32	3	0.06	25	0.48	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	4	0.03	9	0.07	133	1.04	1	0.03	16	0.46	2	0.14	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	23	0.66	1	0.11	17	1.89	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	2	0.06	27	0.84	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	12	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	-	-	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	-	-	-	-	33	0.61	1	0.08	16	1.33	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	0.01	-	-	73	0.97	2	0.10	47	2.35	-	-	-	-	1	0.05
山口県	-	-	1	0.02	-	-	98	2.00	1	0.11	4	0.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	1	0.04	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	14	0.44	20	0.63	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	2	0.05	-	-	23	0.59	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	31	1.00	-	-	12	4.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	4	0.05	3	0.04	38	0.49	-	-	25	1.39	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	13	0.57	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	24	0.55	5	0.63	12	1.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	3	0.06	1	0.02	27	0.55	2	0.22	24	2.67	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	9	0.25	1	0.03	6	0.17	-	-	13	2.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	5	0.14	-	-	31	0.84	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	1	0.02	-	-	18	0.31	-	-	24	4.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	3	0.09	-	-	2	0.06	2	0.20	6	0.60	-	-	-	-	1	0.14



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年1週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	32	0.07	-	-	1	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	1	0.08	-	-	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.33	-	-	-	-
東京都	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	1	0.13	-	-	-	-
新潟県	4	0.31	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	3	0.50	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.22	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.13	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	2	0.29	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.14	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第1号 平成12年1月21日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課  
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>  
http://www.mhw.go.jp/  
<厚生省>  
http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/  
<成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。